

を問うこと自体がナンセンスではないでしょうか。

撮影後のインタビューで、宮沢りえさん自身が「この映画は(施設の)陰の部分に誇張して表現しているのでは?」と感ずることがあったと語っています。確かに、観る者に歪な先入観を与えてしまう危険は否定できません。

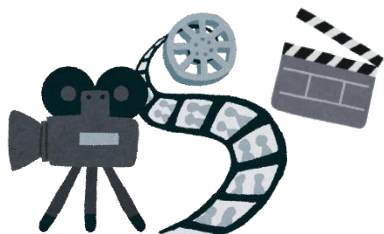
同じように二階堂ふみさんも登場人物とご自身の感覚との齟齬について次のように語っています。

(以下パンフレットから引用します)

「障がいがある人達への眼差しは、私自身とは違うので、疲れるところもありました。私が通っていた保育園幼稚園が障がい者施設と定期的な交流会を持っていて、初めて訪れたとき、そこに住む同世代の女の子がスケートボードみたいに車輪の付いた器具を使って、すごいスピードでこっちに向かって移動してきたとき、子ども心に『めっちゃくちゃカッコいい』と思ったんです。以降、私は彼女たちに会いに行けることを楽しみにしていました。その子たちは、私と年齢が変わらないのに親元から離れて、器具を駆使して暮らしていて、地域の中に溶け込んでいたんです。私自身がまだ幼く現実を知らない部分もあったと思うのですが、彼らは私たちと同じように当たり前前に存在していました。だからこそ、自分自身と障がいのある人との間に、一方的に壁を引いて、事件を起こした加害者に対して今でもやはり憤りを感じる……」

二階堂ふみさんが指摘されているように「障がいのある人との間の壁」がまさしくノーマライゼーションの阻害要因でしょうし、おそらくその差別意識のなかには経済合理主義以外の要素もあるように思います。二階堂ふみさんのように子どもの頃から障がいのある人と交流し、映画のシーンに違和感を持つ人は少数派なのかもしれません。

京都駅近くで金曜日の夜という時間帯にもかかわらず、観客は、私と施設職員らしきジャージを着たカップル1組、年齢差が20歳以上ありそうな男女の計5人だけでした。監督の石井裕也さんが懸念されていた問題作としての風評が立つこともなく、世間の話題にも上りませんでした。残念ながら、このような障がい者問題を扱った映画は、たとえ有名なキャストを揃えても、大半の人にスルーされるようです。そこに一番大きな問題があるのでは?と感じています。(T.U.)



大阪市育成会会員だより



《2月 支部連絡会について》

※会場の都合により日程を変更して開催します。

- ・日 時：2月22日(木) 13:00
- ・場 所：社会福祉センター 第3・第4会議室

《3月支部連絡会&会員懇親会について》

※3月度支部連絡会は会員懇親会を兼ねて開催します。

- ・日 時：3月21日(木) 12:00~
- ・場 所：たかつガーデン カトリアの間
- ・定 員：40名(※各支部から2~3名/個人会員可)
- ・参加料：2,500円(軽食を準備いたします)
- ・申込方法：育成会事務局へお申込みください。
- ・申込締切：2月22日(木) (定員になり次第締切)

《★バレンタインコンサート★の開催について》

- ・日 時：2月17日(土) 13:00~15:00
- ・場 所：ドーンセンター ホール(7階)
- ・内 容：第1部 ピアノソット&ダンスパフォーマンス
第2部 NTT西日本大阪吹奏楽団の演奏
- ・定 員：500名(※大阪市育成会会員)
- ・参加料：無料
- ・申込方法：育成会事務局へFAXまたは、電話でお申込みください。
- ・申込締切：1月25日(木)



活動報告(12月16日から1月15日まで)

活動日	内 容
12/17	第50回クリスマスつどい (長居障がい者スポーツセンター)
12/18	新たな長居障がい者スポーツセンター 整備基本計画検討会議(大阪市役所)
12/19	難波支援学校進路人権後援会 (難波支援学校)
12/22	大阪市交通バリアフリー基本構想推進 協議会(大阪市役所)
1/7	仲間づくりの教室(住之江支援学校)
1/13	エル・チャレンジ新春ボウリング大会 (心齋橋サンボウル)
1/14	2024ウインズ新年の集い (ウエスティンホテル大阪)
1/15	大阪市交通バリアフリー基本構想推進 協議会(大阪市役所)